

2025 年 10 月 17 日

各 位

RWafi 特化型・不動産マーケットプレイスの開発完了に関するお知らせ

当社は、現実資産（Real World Asset：RWA）をブロックチェーン上でトークン化し、分散型金融（DeFi）やデジタル体験に接続する「RWafi」領域における事業拡大を目的として、新たに不動産 RWA 化に対応したマーケットプレイスの基本機能の設計・開発フェーズを完了したことをお知らせいたします。

今後は、実証的なユースケースの展開や限定的な物件でのテスト運用を経て、段階的な市場展開を予定しております。

本開発は、2025 年 2 月 7 日付「[Metabit. SDN. BHD. との戦略的開発パートナーシップ提携に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、当社の戦略的パートナーである Metabit. SDN. BHD.（以下、Metabit 社）との共同によるものです。

1. 開発した RWafi マーケットプレイスの主な特徴

① 不動産のトークン化（RWA 化）による小口分散所有の実現

不動産という高額・低流動性資産をブロックチェーン上でトークン化（RWA 化）することで、小口単位での分散所有を可能にし、資産の流動性向上を図ります。

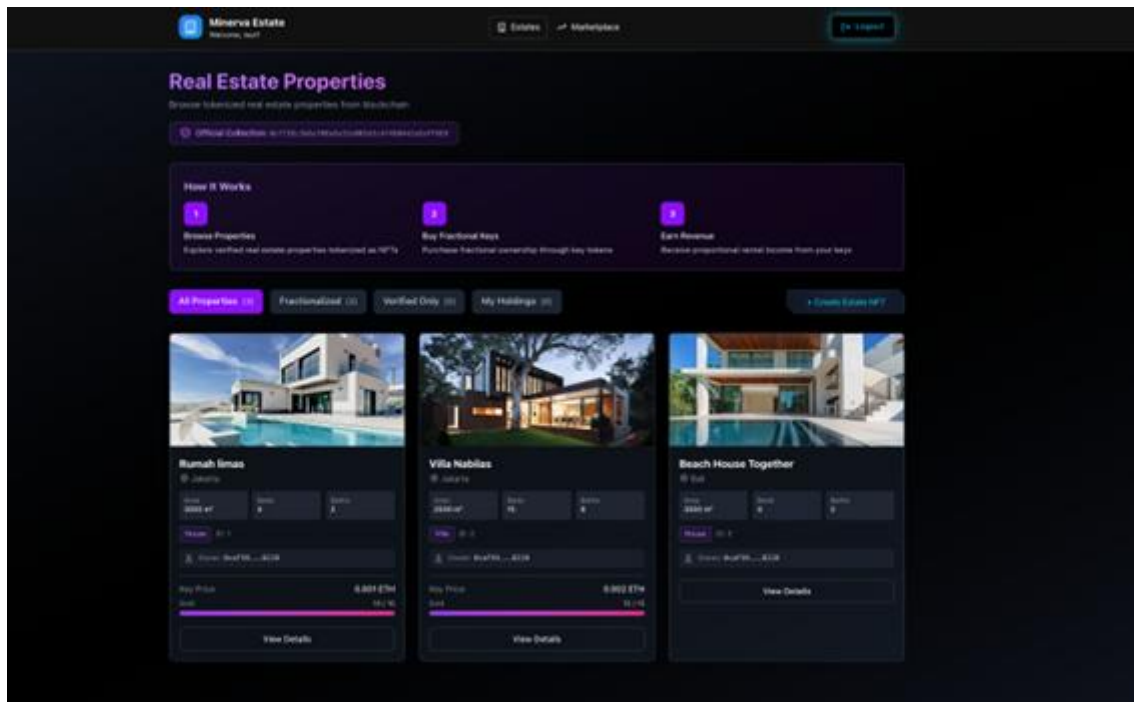
② 「宿泊可能な NFT」による体験型資産へ

所有トークンに紐づく利用体験として、一定日数の宿泊権利（例：年間 10 日間程度）を NFT として発行する設計を採用しており、具体的な利用可能日数は NFT 所有者間の合意等により柔軟に調整される予定です。これにより、「利用価値のある資産」としての側面も加え、体験性と所有性の融合を図ります。

③ ZMAT トークンとの連携によるエコシステム強化

本マーケットプレイスは、ZoomART Foundation が展開する RWA トークン

「ZoomART（ZMAT）」との連携も視野に入れており、ブランド価値を可視化・トークン化する構想を持つ ZMAT との連動により、資産価値の多層的活用を志向しています。



※現時点でのイメージ画像となります。

2. 本プロジェクトにおける役割分担

本プロジェクトにおける当社と Metabit 社の役割分担は以下の通りです。

- 当社：プロジェクト全体の企画立案、事業戦略の策定、RWA マーケットプレイスの構想・設計、トークンエコノミーの構築、国内における事業運営・広報活動等を担当
- Metabit 社：ブロックチェーン領域における技術的知見を活かし、本プロジェクトにおけるシステム開発・実装を主導。不動産 NFT の発行、スマートコントラクトの実装、宿泊権利付き NFT の仕組み設計、RWA トークンとの連携実装、ならびに保守運用など、開発・技術基盤

3. 「ZoomART (ZMAT)」について

「ZoomART (ZMAT)」(公式サイト：<https://zoomart.io/>) は、アート・コレクション資産等を担保とした RWA 型トークンであり、すでに LBANK (<https://www.lbank.com/ja>) および BitMart (<https://www.bitmart.com/ja-JP>) の 2 つの暗号資産取引所に上場しており、マーケット上において一定の流動性を有しております。

本トークンは、1 億 1,990 万ドル(約 180 億円相当)の現物資産により担保されており、そのトークン設計の独自性と裏付け資産の規模から、グローバル市場において一定の注目を集めております。

また、将来的には、企業が保有するブランド資産や地域社会に根ざした資産等のトークン化といった応用可能性も関係各社において検討されており、当社としても ZMAT をはじめとするブランド資産型 RWA の動向を注視しております。

本マーケットプレイスにおける応用可能性についても、引き続き検討を進めてまいります。

4. 今後の展望

今回開発した不動産 RWA マーケットプレイスは、以下の段階的展開を想定しています。

- 2025 年冬頃：先行物件における実証的な販売と運用開始を予定（具体的なスケジュール・対象物件の選定等については、関係先との調整状況を踏まえて順次決定してまいります）。
- 2026 年以降：地方自治体や観光事業者と連携した宿泊体験型不動産 NFT の導入
- ZMAT・その他トークンとの連携強化：所有、報酬、意思決定、利用価値の統合設計

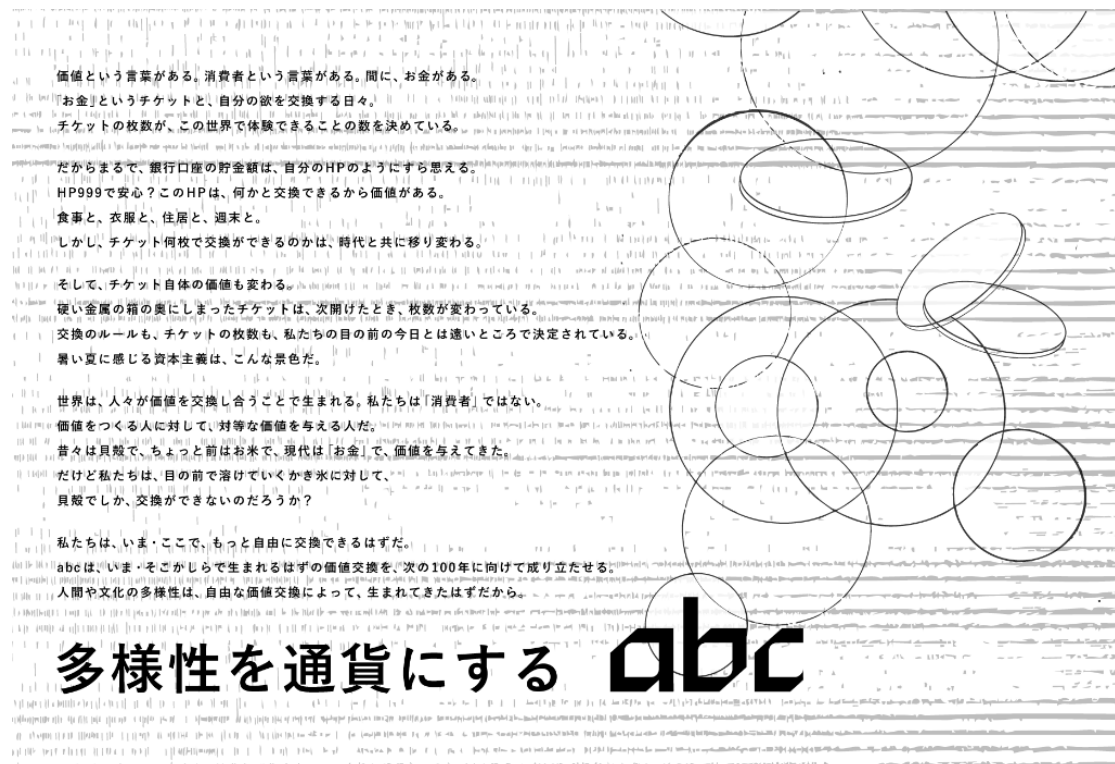
また将来的には、RWA 資産とミーム型トークンやコミュニティトークンとの連携を通じ、より広範な Web3 経済圏との接続を視野に入れたユースケースの開発も可能性の一つとして検討しております。

なお、本マーケットプレイスにおける資産管理、流通設計、ステーキングモデル等の具体的仕様については、順次開示予定です。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上